

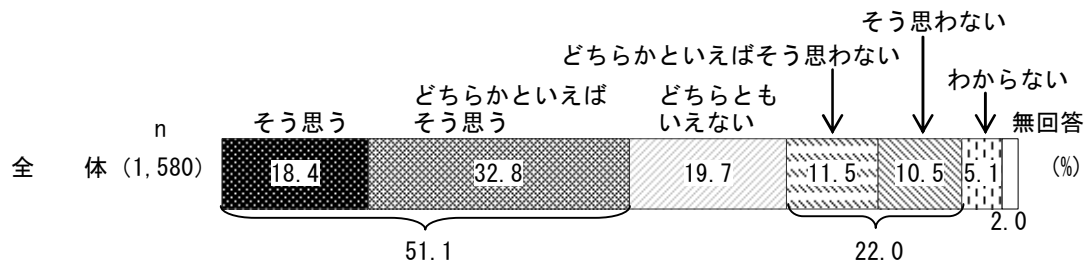
2 健康について

(1) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が5割を超える

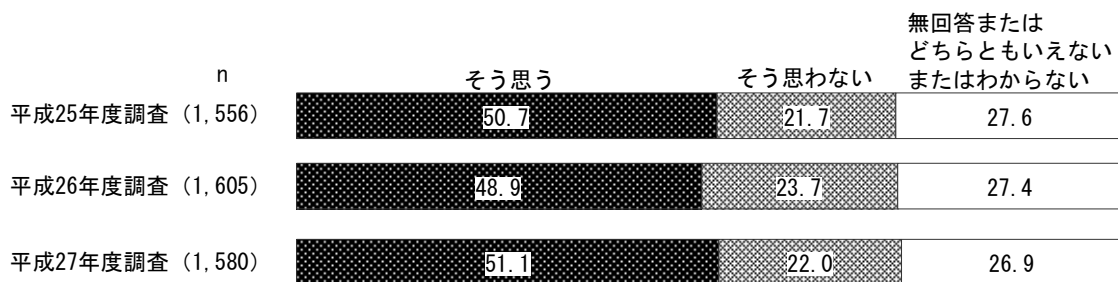
問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。
(○は1つ)

<図表2-1>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(18.4%)と「どちらかといえばそう思う」(32.8%)を合わせた『そう思う』(51.1%)は5割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.5%)と「そう思わない」(10.5%)を合わせた『そう思わない』(22.0%)は2割を超えている。(図表2-1)

【参考】平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



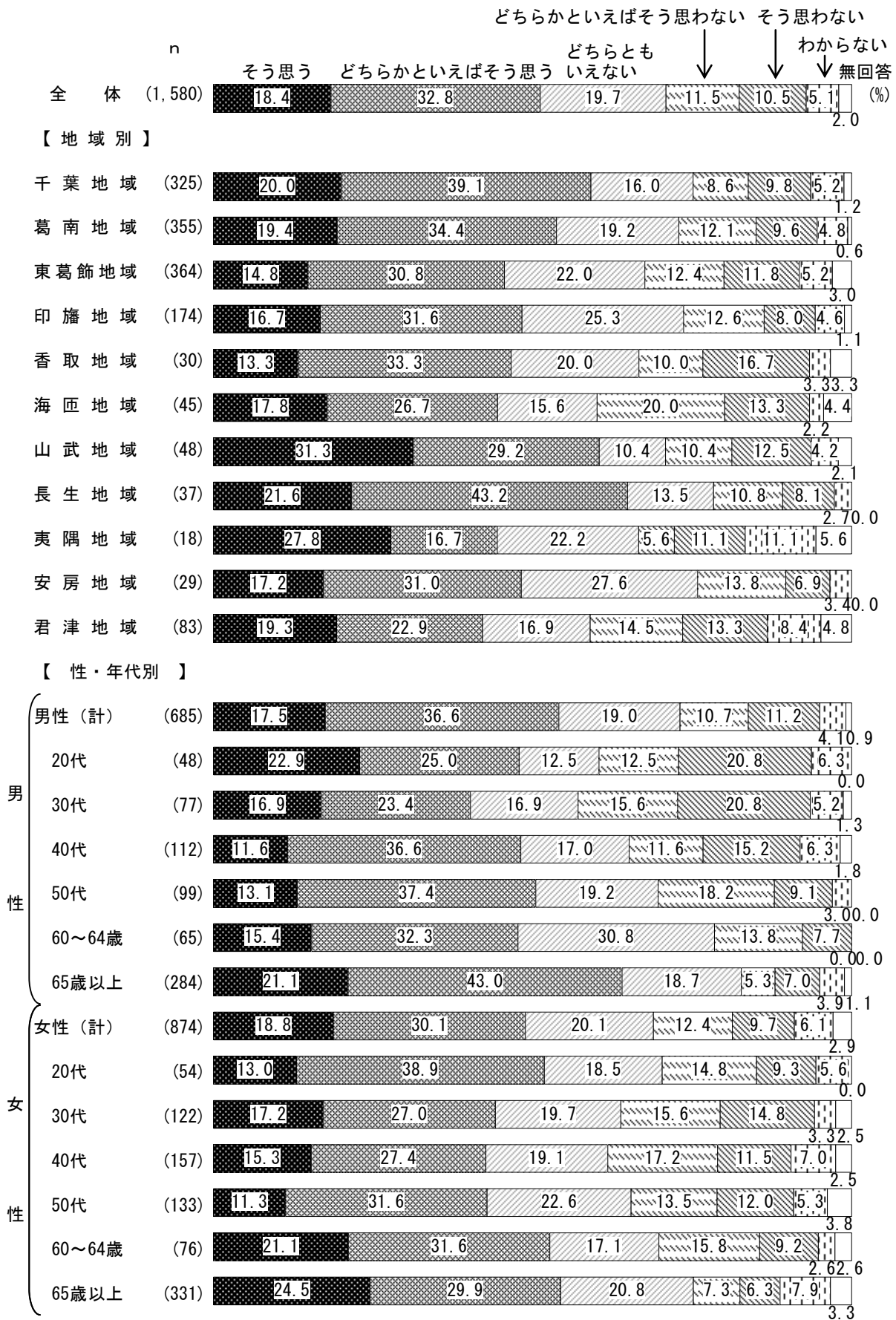
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“長生地域”(64.9%)が6割台半ば、“山武地域”(60.4%)で6割、“千葉地域”(59.1%)で約6割と他の地域に比べて高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(64.1%)で6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性30代(36.4%)で3割台半ば、女性30代(30.3%)で3割、女性40代(28.7%)で約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表2-2)

<図表2-2>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

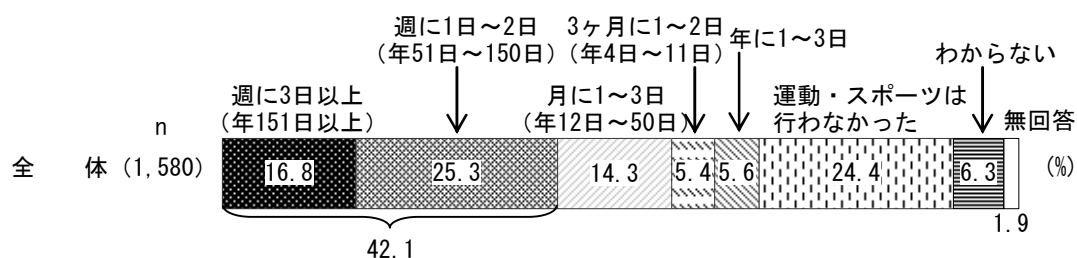


(2) 健康づくりのための運動

◇『健康づくりのために週1日以上運動した』は4割を超える

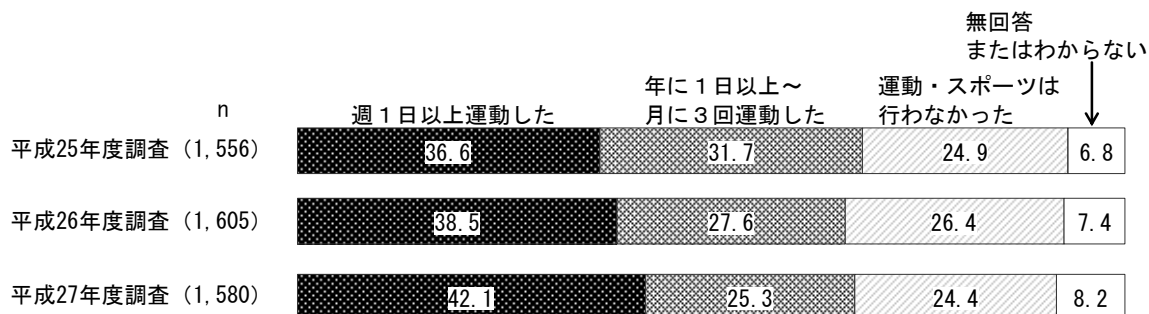
問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
(○は1つ)

<図表2-3>健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上 (年151日以上)」(16.8%)、「週に1日~2日 (年51日~150日)」(25.3%)を合わせた『健康づくりのために週1日以上運動した』(42.1%)は4割を超えている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(24.4%)は2割台半ばとなっている。(図表2-3)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



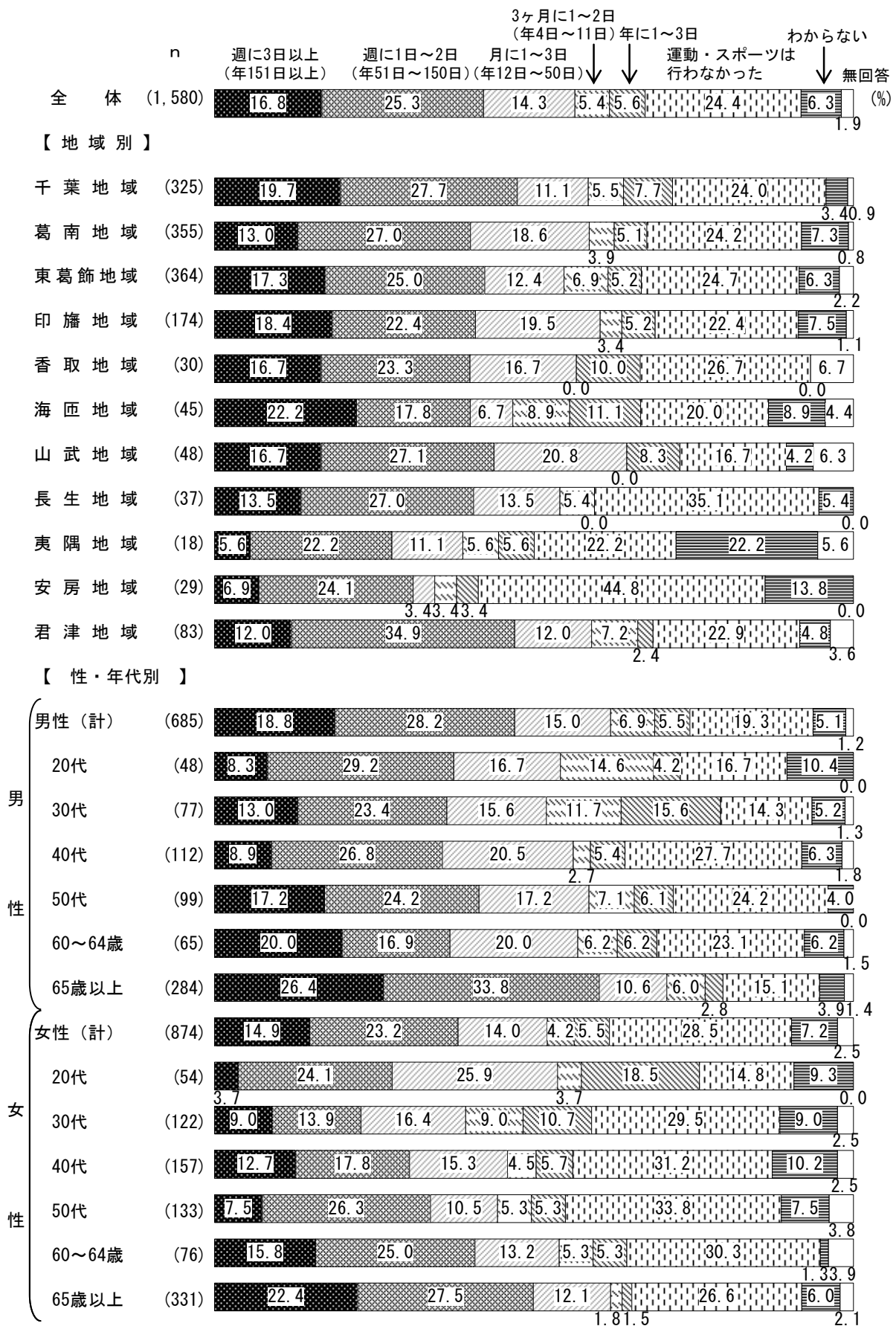
【地域別】

地域別にみると、『週1日以上運動した』は“千葉地域”(47.4%)で約5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表2-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の65歳以上(60.2%)で6割、女性の65歳以上(49.8%)で5割と他の年代と比べて高くなっている。(図表2-4)

<図表2-4>健康づくりのための運動/地域別、性・年代別

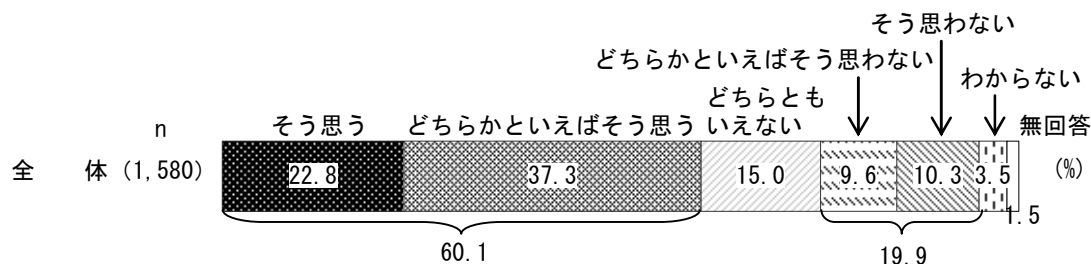


(3) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』は6割

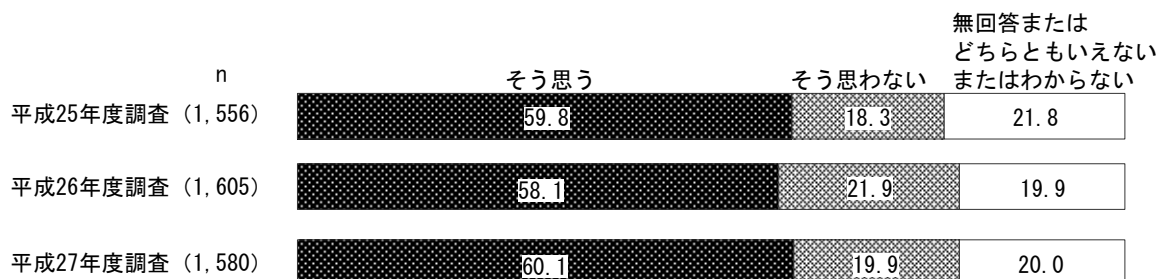
問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
(○は1つ)

<図表2-5>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(22.8%)と「どちらかといえばそう思う」(37.3%)を合わせた『そう思う』(60.1%)は6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.6%)と「そう思わない」(10.3%)を合わせた『そう思わない』(19.9%)は約2割となっている。(図表2-5)

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



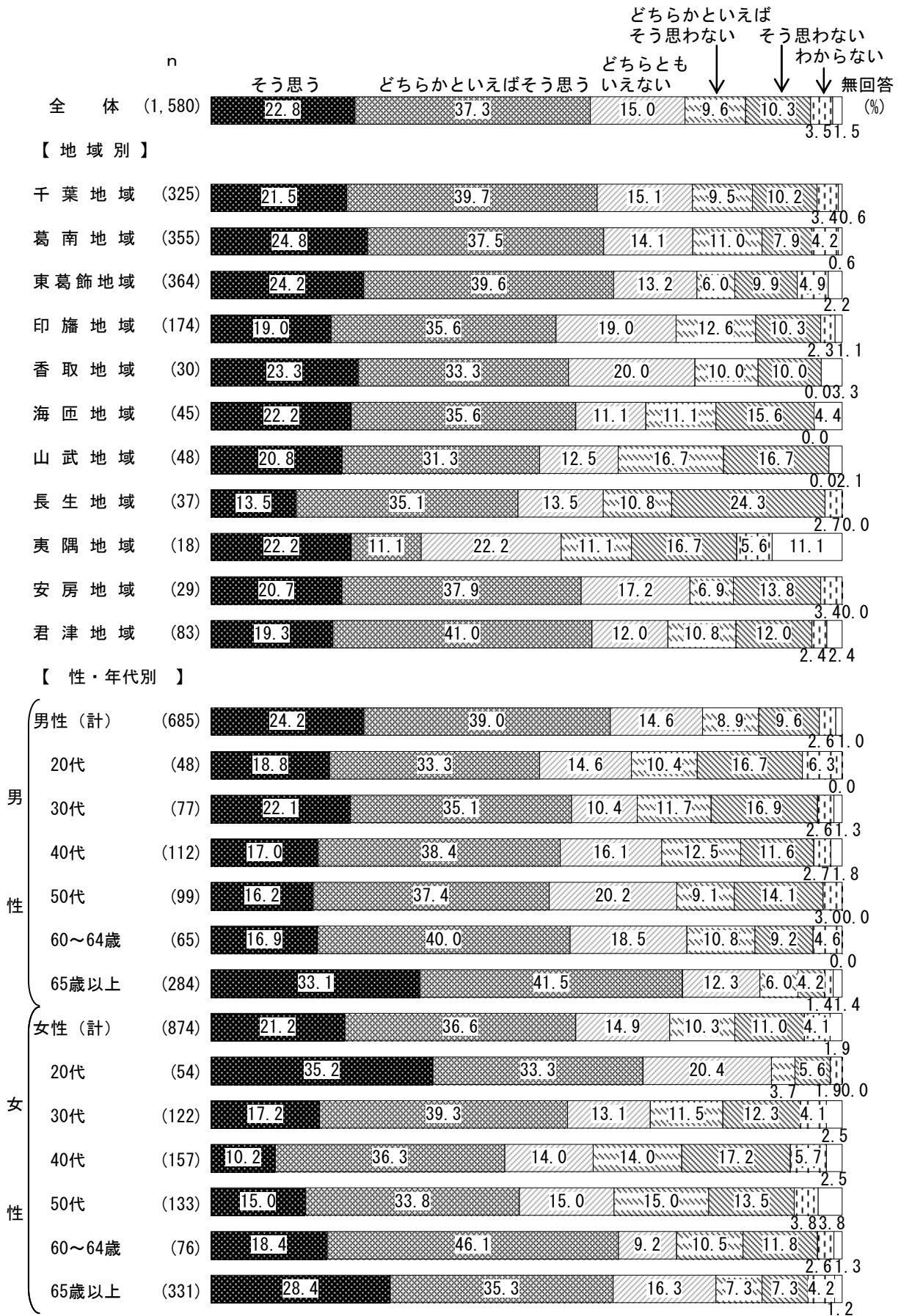
【地域別】

地域別にみると、『そう思わない』は“長生地域”(35.1%)、“山武地域”(33.3%)で3割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表2-6)

【性・年代別】

性別でみると、『そう思う』は男性(63.2%)が6割台半ばと高くなっており、性・年代別にみると男性の65歳以上(74.6%)で7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は女性40代(31.2%)で3割を超え、女性50代(28.6%)で約3割と高くなっている。(図表2-6)

<図表2-6>安心して受診できる医療体制/地域別、性・年代別



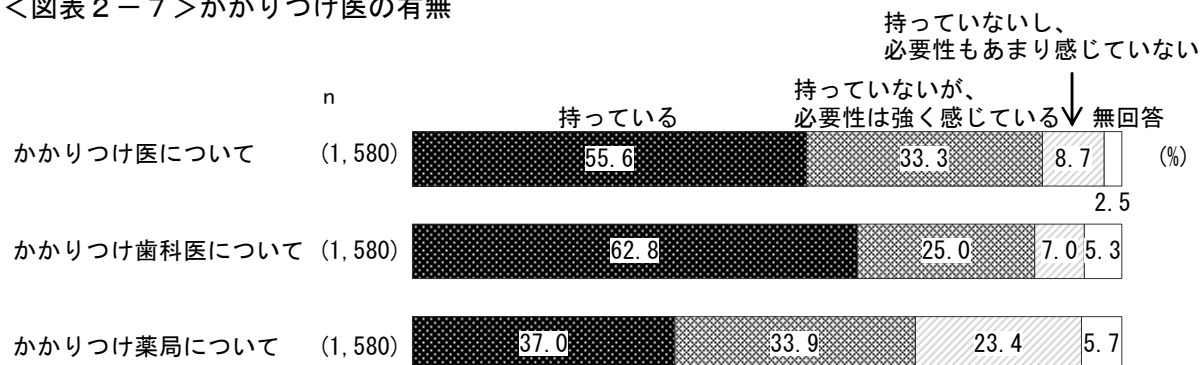
(4) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

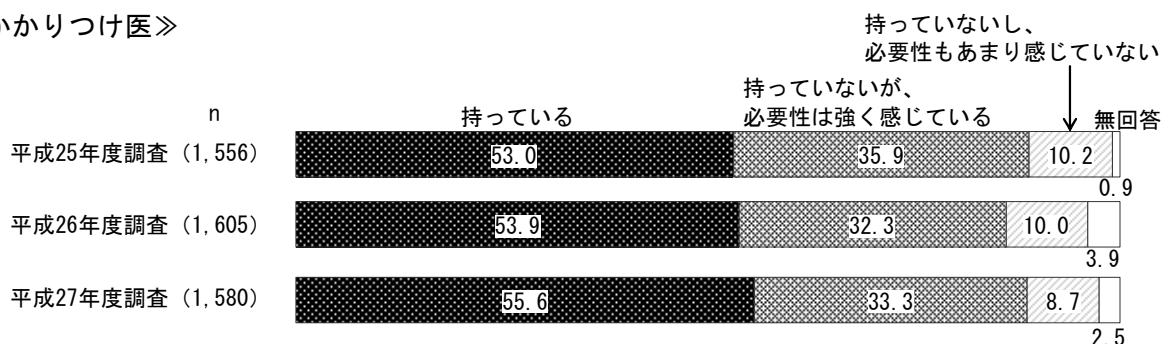
<図表2-7>かかりつけ医の有無



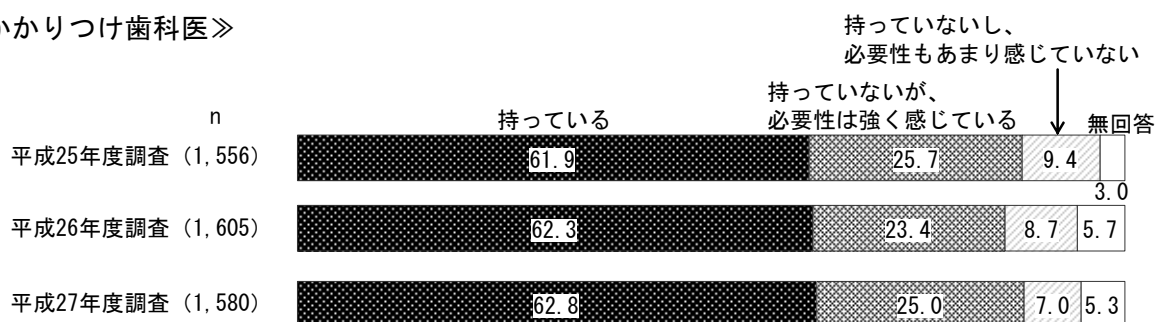
かかりつけの医師、歯科医師、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医師（62.8%）が6割を超え、医師（55.6%）は5割台半ば、薬局（37.0%）は約4割となっている。「持っていないが、必要性は強く感じている」は薬局（33.9%）と医師（33.3%）が3割を超えている。一方、「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（23.4%）が2割台半ばとなっている。（図表2-7）

〔参考〕平成25年度・平成26年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

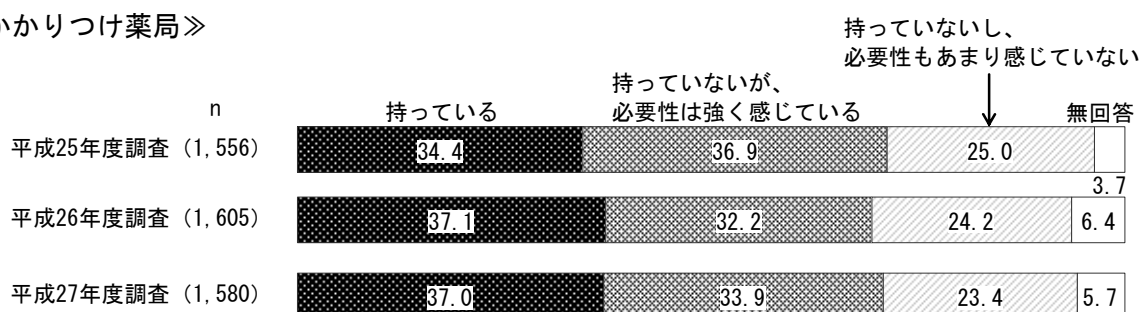
《かかりつけ医》



《かかりつけ歯科医》



《かかりつけ薬局》



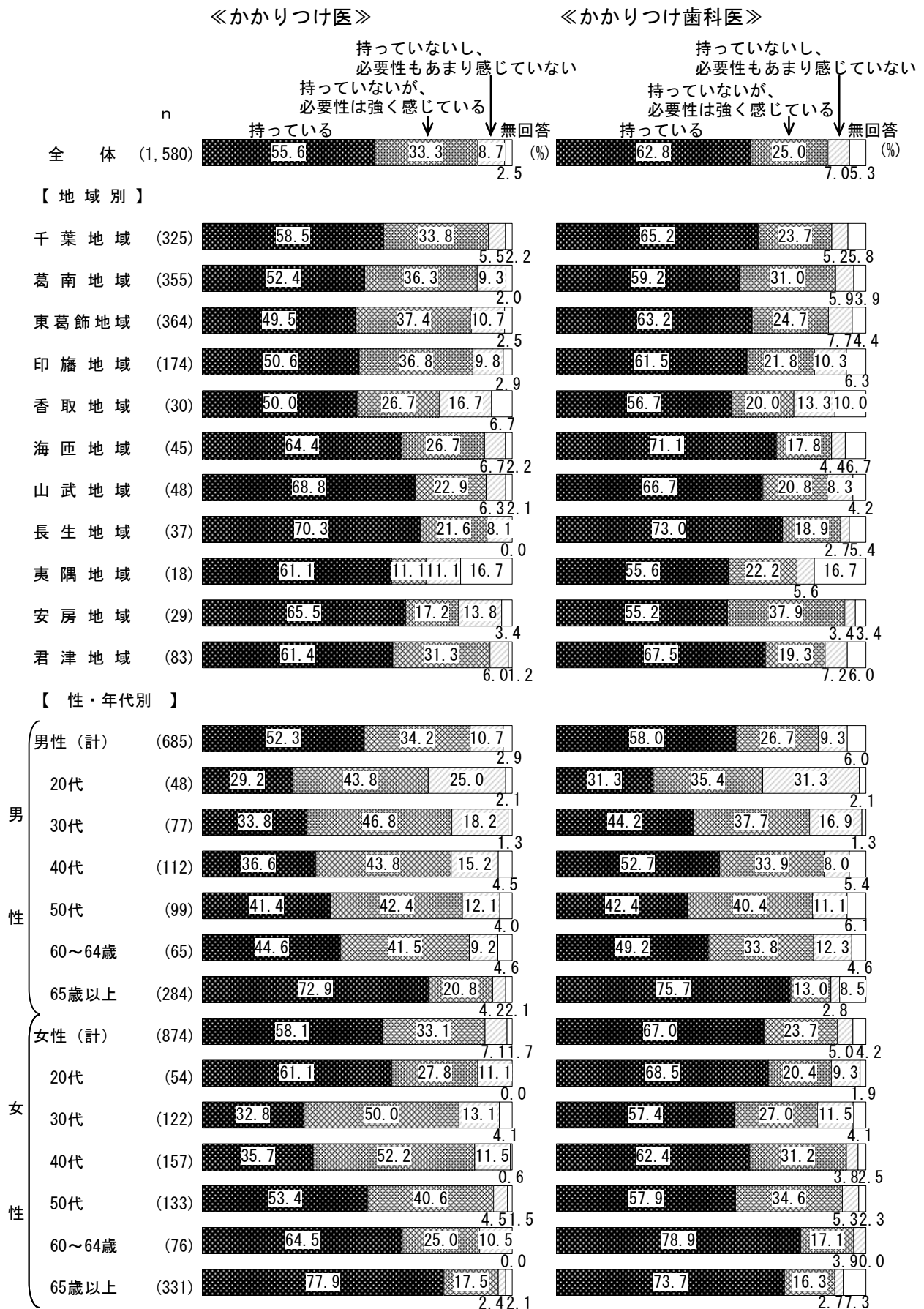
【地域別】

地域別にみると、かかりつけ医を「持っている」は“長生地域”（70.3％）で7割と他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は“長生地域”（73.0％）で7割台半ば、“海匝地域”（71.1％）で7割を超え、他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は“東葛飾地域”（29.1％）で約3割と他の地域に比べて高くなっている。（図表2-8）

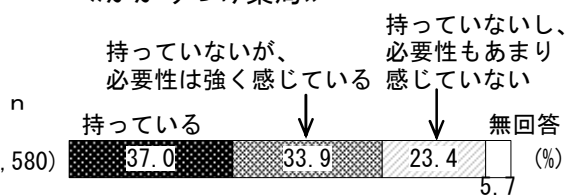
【性・年代別】

性・年代別に見ると、かかりつけ医を「持っている」は女性の65歳以上（77.9％）が約8割、男性の65歳以上（72.9％）が7割を超え、他の年代に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は女性の60～64歳（78.9％）で約8割、男性の65歳以上（75.7％）、女性の65歳以上（73.7％）で7割台半ばと高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は女性（40.3％）の方が高く、性年代別でみると、女性の65歳以上（58.9％）が約6割と高くなっている。（図表2-8）

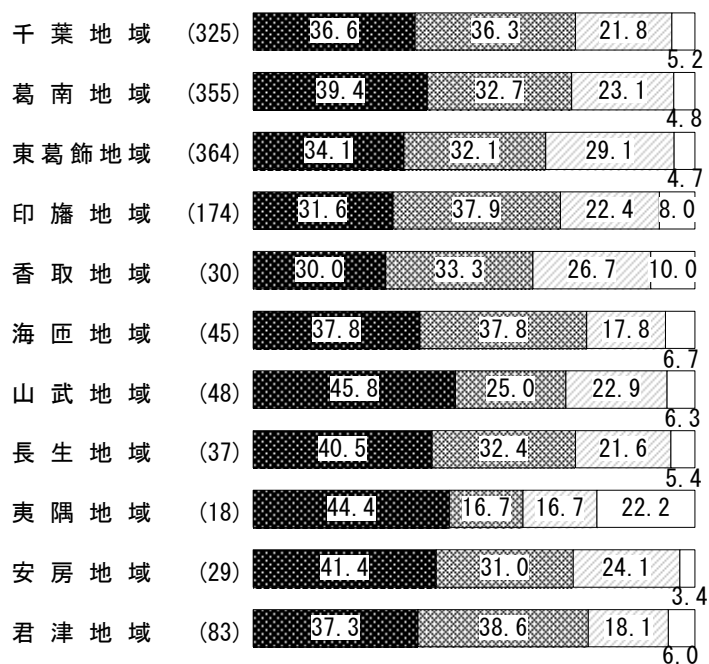
<図表2-8>かかりつけ医の有無/地域別、性・年代別



《かかりつけ薬局》



【地域別】



【性・年代別】

